

協働の森パートナーズ協定

交流活動イベントのレポート

人が森を助ける。
森が人を助ける。



「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください
<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/kyoudounomori/>

協定企業：株式会社ツムラ様
協定森林：「土佐ツムラの森」
開催場所：越知町
開催日：令和7年11月14日（金）
参加者数：42名
（株式会社ツムラ様、
農事組合法人ヒューマンライフ土佐、
公益社団法人牧野記念財団、
越知町立越知中学校、
越知町教育委員会、越知町、高知県）



令和7年11月14日、株式会社ツムラ様、農事組合法人ヒューマンライフ土佐、公益社団法人牧野記念財団、越知中学校、越知町教育委員会、越知町、高知県による交流活動が行われました。

今回は、ミシマサイコの種の収穫体験を実施しました。

<事前学習の様子>



ツムラ様、ヒューマンライフ土佐様から、今回の体験活動について説明がありました。また、ミシマサイコの栽培の一連の流れが動画で紹介されました。

<収穫体験の様子>



まず、作業員の方が機械を使って枝を切り、それを生徒の皆さんが袋に入れます。作業時は、畑に病気を持ち込まないように、フットカバーを着用します。



次に、収穫した茎を脱穀機で茎と種に分けます。普段は触ることのない脱穀機の仕組みに大人も子供も興味津々です。



さらに、ふるいにかけて種を取り出します。たくさん収穫しても、種は少量しかとれないことに驚いている様子でした。

今回収穫した種は全国の品質を統一するために一度ツムラへ全量出荷され、翌年の植えのときに再度供給される形で戻ってきます。代表の生徒からは、「種の収穫までにとっても時間がかかることを知りました。」と感想がありました。

次は12月の根の収穫体験です。今までお話を聞いていた生薬の原料が実際にはどのようなものなのかを実際に見て感じていただければと思います。



人が森を助ける。
森が人を助ける。

